

質問回答

NO.	質問	回答
1	<p>調達仕様書 7頁 3.(3)運用・保守について 令和4年度の下記運用保守実績をご教示お願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定常時対応における問合せ件数 ・ 障害発生時対応の件数 ・ パッチ適用回数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定常時対応における問合せ件数 <ul style="list-style-type: none"> ○API申請: 7件 ○市民からの問い合わせ等: 3件 ○環境省・支援事業者を通じた問い合わせ: 約50件 ・ 障害発生時対応の件数 <ul style="list-style-type: none"> ○1件 ・ パッチ適用回数 <ul style="list-style-type: none"> ○メジャーパッチ 1件 ※マイナーパッチはクラウド事業者により実施。
2	<p>調達仕様書 7頁 3.(3)運用・保守について 環境省オープンデータ基盤システムを構成するソースコード一式は、受託者が新規に作成する事なく、前任業者より無償で引き継ぐ事が出来る認識で合っておりますでしょうか。</p>	<p>現システムのソフトウェアを構成する</p> <ul style="list-style-type: none"> - ポータルサイト (WordPress) - データカタログ (CKAN) <p>のソースコードを提供可能。</p>
3	<p>調達仕様書 7頁 3.(3)運用・保守について 環境省オープンデータ基盤システムを構成する環境一式は、受託者が新規に構築する事なく、前任業者より既存の環境を無償で引き継ぎ、引継いだ環境に対する令和5年度分の運用経費を受託者が支出する認識で合っておりますでしょうか。</p>	<p>現環境のAWSアカウントを、そのまま新請負者に譲渡することで、既存環境を継続することは可能。</p>
4	<p>調達仕様書 6頁 3.(1)環境等改善業務について 前項にて既存環境を引き継げる場合、検証環境は引継ぎ対象に含まれておりますでしょうか。</p>	<p>検証環境は運用保守業務には含まれておらず、引継ぎ対象外。 実際には受託事業者が運用環境と同じAWSアカウント配下に、運用業務のテストのために独自に検証環境を構築し、運用をしているため、新請負者も同様の運用を行うこととなると想定。</p>